

- ▶ 松川町では、ライフライン沿いの支障木により倒木や日陰発生の原因となっており通行支障や、路面凍結が課題となっている。
- ▶ このため、不要木循環事業の取組を実施。

事業内容

不要木循環事業

- ・ ライフライン沿いの支障木を伐採
- ・ 伐採木を製材（一部、長野県森林づくり県民税事業 伐採木も含む）
- ・ イベント時の木工体験の資材や、木材調度品に加工

【事業費】990千円（うち譲与税990千円）

（譲与税は、イベント関連の委託や借用に充当）

【実績】木工体験 約100名

林業者および、木材加工者を含めた6次化成功
 木質調度品サンプル 10個作成

取組の背景

- ・ ライフライン沿いで地元からの伐採要望多数。
- ・ 不要木の処理に毎年、年間平均250万程度の処分費がかかっている。
- ・ 森林啓発等が行われておらず、個人林のほとんどが未施業となっている。



（森林セラピー）



（木工体験）



（IDホルダー）

工夫・留意した点

- ・ 森林組合との協議、製材までの仕組みづくり
- ・ 町内出身、木材加工業者との複数回に渡る打ち合わせ
- ・ 林福連携を意識した加工工程の形成
- ・ 庁舎内職員・町民への普及
- ・ 販路開拓を見据えた官民連携プロジェクトの始動

取組の効果

- ・ 通行支障木、町道凍結路線の解消
- ・ 職員、町民への林業普及
- ・ 伐採木処分費の減少（200万円程度）
- ・ 林業6次化
- ・ 町外企業とのESGを意識した関係づくりに発展



伐採前



伐採後

基礎データ

①令和5年度譲与額：6,516千円		②私有林人工林面積（※1）：2360ha	
③林野率（※1）：65%	④人口（※2）：12,530人	⑤林業就業者数（※2）：31人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 松川町では、個人山の手入れがされていないことが課題となっている。
- ▶ このため、森林セラピー基地を基軸にしたおよりの森 イベントを実施。

担当者連絡先

（部署）産業観光課 農林係 （氏名）清水 遼

（電話番号）0265-36-7027

○（メール）shimizu.r@town.matsukawa.lg.jp

□ 事業内容

およりの森イベント

- ・ 5月27日に町有林への植樹、セラピー体験を実施。
- ・ 8月10日（山の日）に森林普及イベントを実施。

【事業費】934千円（うち譲与税934千円）

（譲与税は、伐採・製材に係る部分に充当）

【実績】参加者400名以上

□ 取組の背景

- ・ 森林セラピー基地の周知不足、町民が知らない状況。
- ・ 森林所有者が森林伐採の必要性を理解していない。
- ・ 大人、子供たちの森林に触れる体験の場が必要。
- ・ 森林セラピー基地認定から10周年

□ 工夫・留意した点

- ・ 民間企業、各団体との打ち合わせ
- ・ 関係各所との調整
- ・ 町内林業者への参画呼びかけ

□ 取組の効果

- ・ 林業に触れることがなかった子供たちへの普及
- ・ セラピー基地への昨年度における来場者数（1358人）の増加前年比175%
- ・ 林業事業者との交流強化
- ・ 町内高校とタイアップした森林教育カリキュラム作成が進行中



植樹くり DAY

およりの森祭り

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：6,516千円	②私有林人工林面積（※1）：2360ha	
③林野率（※1）：65%	④人口（※2）：12,530人	⑤林業就業者数（※2）：31人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



(植樹DAY)



(およりの森祭り)



(セラピー体験)

- ▶ 松川町では、住宅に密集地に隣接している18林班の森林整備不足が課題となっている。
- ▶ このため、経営管理制度に基づく現地調査、意向調査を実施。

□ 事業内容

18林班についてアンケート形式による意向調査を実施

- 面積 31.72ha。
- 林小班 353箇所
- 送付数 92件

【事業費】 5,632千円 (うち譲与税5,632千円)

【実績】 協定に基づく森林整備の同意取得まで進行
35名

□ 取組の背景

当該地域は住宅密集地帯付近に接する山林であり、土砂災害警戒区域にあること。

森林の未整備は、サル等の鳥獣のすみかになっており、当町における主要生産物である果樹農家の被害が拡大傾向にあるとともに、通学路への出没も顕著になってきていること。

県道や農道等幅員の大きい道路沿いに存在しており、経営管理制度推進に当たって、モデルケースとなりうること。

○町道御嶽原線～町道 304 号線

○県道松川インター大鹿線



□ 工夫・留意した点

現地地図の添付、森林状況の写真を添付。

現地の立ち合いや荷電連絡を通して森林状況を町から伝え、遺体的整備を行えるよう同意取得まで持ち込んだ。

□ 取組の効果

森林所有者への森林整備啓発につながった。

特に町外遠方の森林所有者への現地状況の周知および、森林整備の重要性を伝えることができた。

地域住民要望に応えることができるよう次年度の森林整備設計へすすむことができた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：6,516千円	②私有林人工林面積(※1)：2360ha	
③林野率(※1)：65%	④人口(※2)：12,530人	⑤林業就業者数(※2)：31人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より